

愛知県保険医協会

学生会員ニュース No.44

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市中昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ：https://aichi-hkn.jp/

e-mail：aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

気が付けば5月…、あっという間に時間が過ぎますね。昼間はもう夏のような陽気、過ごしやすい時期がずっと続けばいいなと思います。

今回は、「医師不足？偏在？」のテーマを取り上げています。これから医師・歯科医師となる皆さんの意見はいかがでしょうか？ぜひ、お寄せいただけると嬉しいです。

【医師は不足？偏在？ ～働き方ビジョン検討会報告から考える～】

厚生労働省の研究班・働き方ビジョン検討会（以下：ビジョン検討会）は、厚労省の「医療従事者の需給に関する検討会」と「医師需給分科会」の議論を中断して、2016年10月に発足しました。このビジョン検討会が「10万人調査」を行い、その結果から報告を作成しましたが、その報告を受けて医療界からは異論が出されています。

この「10万人調査」は、2016年12月に全国の1万2千の施設に勤める医師10万人を対象に行われ、12月の1週間に何時間働いたかの記入を依頼し、約1万6,000人が回答しました。

調査結果を受けてビジョン検討会では「医師等のモチベーションを重視し、国による強制的な偏在対策は望ましくない。環境整備が功を奏せば、医師を増やさずとも、医療需要を満たせる」と主張しました。

しかし、環境整備が功を奏せば「医師を増やす必要が無い」というのは、本当でしょうか？

今回の調査では、「地方で勤務する意志があるか？」について「医師の44%が地方勤務の意志がある」が回答したと報告。しかし、地方の範囲が「東京都23区および政令指定都市、県庁所在地などの都市部以外」であること（東京でも23区以外は地方と定義されてしまう。）、現在地方に勤務している人は「意志がある」と答えるよう求められている（参考：1参照）ことから、実際に44%の医師が地方勤務を望んでいるかについては疑問が残ると言え、希望通りとなれば偏在を解消できるという安易な発想には無理があると言えます。

参考：1

問12 今後、東京都23区及び政令指定都市、県庁所在地等の都市部以外で勤務する意志がありますか？
（現在、当該地域に勤務されている方は「01 ある」を選択して下さい）

01 ある（⇒問13へ）

02 ない（⇒問14へ）

→ 問13 <<問12で「01 ある」と回答された方のみ>>
具体的には何年程度勤務する意志がありますか？

また、同じ調査では「20代の勤務医は週平均55時間勤務し、これに当直や待機が12時間以上加わる」「週60時間以上勤務していたのは男性27.7%、女性17.3%である」等、多くの医師が長時間働いている結果も出ており、現在医師が厳しい勤務に耐え医療体制を維

（裏面に続く）

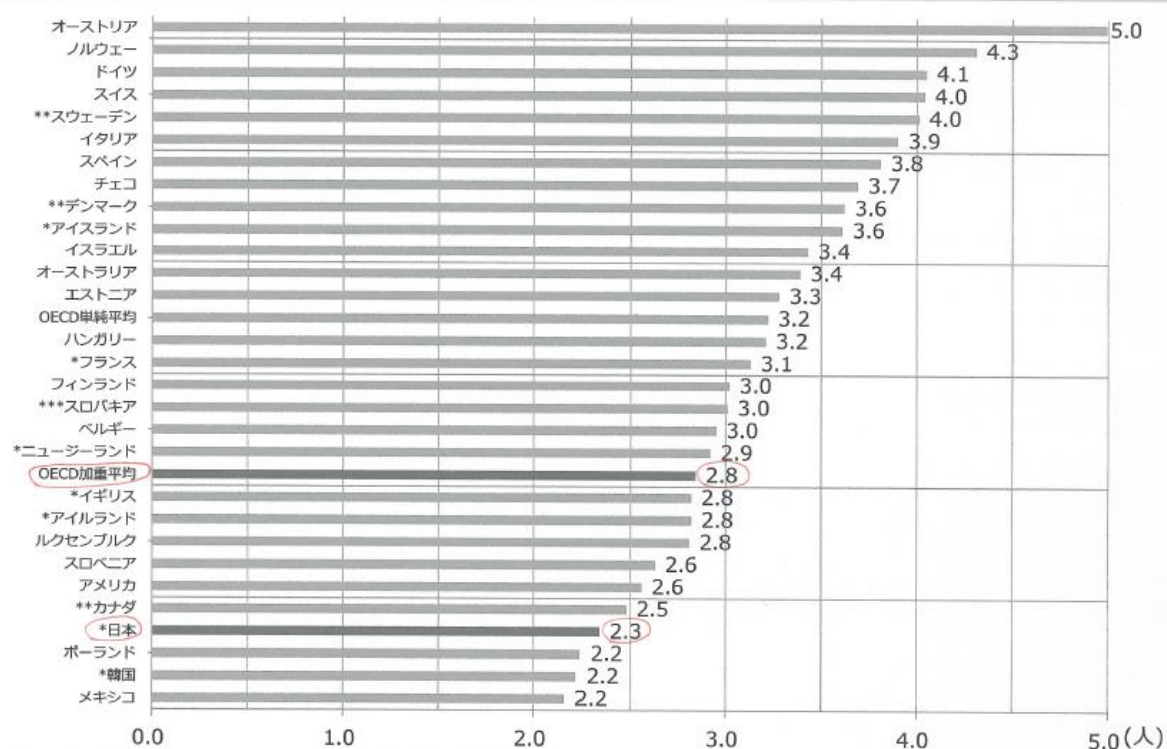
持っていることはこの調査からも明らかです。

また、OECD加盟国の人口1000人あたりの臨床医数を見ても、日本は平均よりも低く、下から数えて4番目(表:1参照)にあります。

今こそ医師は「偏在」ではなく、「不足」だということを認め、そこを出発点として早急に対策を行う必要があるのではないのでしょうか。



表:1 OECD加盟国の人口1,000人当たり臨床医数 OECD Health Statistics 2015



FAX : 052-834-3512

E-mail : aichi-hkn@doc-net.or.jp

お名前	
ご連絡先	住所 TEL 又は E-mail
◎ご意見・質問、取り上げて欲しい話題等、ぜひなんでもご記入ください。	